

事業所職員向け

児童発達支援あいびい自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	4	仕切りを使用したり、1階や個室を使用したりと活動を分けて行う際はスペースがないように感じる。また児童が集中して机上課題など行う場所がない(首が入る、室内にものがある)
	2	職員の配置数は適切であるか	6		児童2人に職員1人と配置することが基本的にできており、安心安全に過ごすことが出来ている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	2	生活空間としては過ごしやすい環境である。階段に手すり、エレベーターもある。しかし3階の為災害があり避難する場合、避難できるが危険がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		つねに環境を整えている。環境も必要に応じてかえ、子どもたちが活動しやすい空間を心がけている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1	職員間で朝礼・会議などPDCAを意識し行動する事が出来ているが、振り返りがその日にしっかりと行えておらず、次の日の朝礼で話し合うことがある。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		保護者向けの評価表を作成し、アンケートをとっている。集計を行い職員会議を開き、意見を前向きに受け止め改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	会社のホームページに開示している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	第三者に当事業所にはいってもらい第三者からの評価を受けている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		定期的に研修会を行い職員の質が高める事が出来るようにしている。研修報告書を必ず作成し提出している。まだ研修の数は少ないため増やしていきたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		必ず児童の実態を把握し、保護者のニーズにできる限り沿った児童発達支援計画を作成している。またそのための支援会議も行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	準備をしいつでも使用できる。しかし、積極的に使用しないことも職員の中である為、使用していくように職員間で再度周知徹底を行う。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		児童発達支援管理責任者のもと作成された児童発達支援計画にガイドラインに沿った項目を記載し、支援計画案の内容を支援会議によって思考し最終決定を行っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		毎月、児童発達支援計画に沿った評価・反省を行い、支援計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		週で活動案を立て、週案担当を主として活動を行っている。朝礼でも確認を行い、スムーズに活動を実施できるようにしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		上記の通りしている為、活動プログラムが固定化することがない。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6		子どもの状況に応じて活動分けを行っている。また、それに応じた児童発達支援計画を作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		週案を掲示もしくはメールで伝達している。また、当日の朝礼で確認を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	その日に振り返りが全体できていないこともある。翌日の朝に話すこともあるため、できる限りその日に共有できるようにしていく。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		日誌や週案など書面での記録は徹底している。また、支援の反省なども個々もしくは全体でするようにしている。	

20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	定期的に実施している。
----	--	---	-------------

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		必ず管理者もしくは児童発達支援管理責任者が参加できるようにしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		必要に応じて子育て支援センターや保健師、他事業所等、電話や対面で連携を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		保育園や幼稚園に移行する場合は、保護者に確認をとり支援内容などの情報共有を移行先と行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	年長児がいる場合は要録や支援学級の担任と情報共有など行っている。また教育研究所とも連携を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	近隣の児童発達支援や児童発達支援センターと連携は図っているが、この時期のため研修などは参加する事が出来ない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2	幼稚園と交流する機会があるが、現状積極的に交流する事ができていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	5	子ども部会には参加している。しかし、職員に共有できていない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		送迎時もしくは話す機会を設定し、子どもの状況や課題を共通理解できるようにしている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	1	5	ペアレントトレーニングはほとんどできていないのが現状である。そういった機会を増やしていきたい。親への指導は出来ている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		利用契約時必ず実施している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		児童発達支援計画に沿って支援内容を説明する場を作り、保護者の同意を必ず得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		児童に関しての悩みや相談を聞き取り、できる限り悩みが減るもしくは和らぐように心がけている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6	コロナ禍ということもあり、保護者同士の交流を図るための場を全く設ける事が出来なかった。今後は状況を見ながら実施していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		・相談等の申し入れについては、送迎時や電話、メッセージで随時対応している。また、相談があった場合は、速やかに管理者もしくは統括、施設長に報告し、対応できるようにしている。また、事業所職員での会議、管理者での会議を開催し話し合うこともある。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		・毎月必ず、「あいびい通信」を発行し、翌月の予定や月の活動の様子を保護者様に配布している。また、口頭で送迎時もしくは電話で行っている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		・毎月、一回事業所で、コンプライアンス会議を実施している。その際、必ず個人情報保護の観点から個人情報についての確認、事例などをあげ共有している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		・児童にあったコミュニケーションの取り方を探し実施している。(絵カード)また、意思の疎通で事業所で上手く取ることが出来た場合は、保護者様にも提案している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6	・全く実施することができていない。今後はコロナ禍の状況を見ながら実施していきたい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		・マニュアルを策定し、つねに事務所に設置し確認できる状況である。また、感染症や緊急時においてもフローを作成している。訓練やミーティングも実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		・他事業所と併設しているため、合同での非常災害時訓練を行っている。また、年に一度消防の方々に来ていただき、訓練や講習を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		・契約前に必ず確認、書面に記入している。また口頭でも確認をとっている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	・現在対象の児童がいない状況であるが、今後対象児童が出てくる場合は、契約時に確認を行い、医師からの指示書など記入していただくようになっている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		・事例集は作成していないが、児童に危険な行為、行動があれば、必ずヒヤリハット報告書に現場を見た職員が記入している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		・研修自体は行っているが、虐待についての研修は現在実施していない。今後虐待についての研修を取り入れていくようにする。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	2	・身体拘束については契約の際に契約書に基づいて説明はしている。